

(別添)

1. 構造名

換気スリット・合成樹脂塗装スラグせっこう板張/木製下地軒裏

2. 寸法および形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
軒の出	1000 以下
軒の形状	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 勾配 (軒天材の厚さ $10_{\pm 0.5} \sim 12_{\pm 0.5}$ に限る) (2) 水平

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
①軒天材	<p>[1] 基材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材質 スラグせっこう板 (国土交通省大臣認定番号：NM-8314、8315) ・密度 $1.05_{\pm 0.15}$ ・厚さ $10_{\pm 0.5} \sim 12_{\pm 0.5}$ (勾配軒形状の場合) $8_{\pm 0.4} \sim 12_{\pm 0.5}$ (水平軒形状の場合) ・表面形状 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) 平滑 (2) エンボス (ただし最小厚さ $8_{\pm 0.4}$ を確保) (3) 溝加工 (ただし最小厚さ $8_{\pm 0.4}$ を確保) ・目地形状 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (別添-15 参照) (1) 突付け目地 (2) 面取り突付け目地 (3) 合いじゃくり目地 (4) 金属ジョイナー目地 ・組成 (質量%) <ul style="list-style-type: none"> 二水せっこう 30～50 スラグ 30～50 無機質系混和材 (パーライト等) 5～20 有機質繊維 (パルプ等) 5 以下 <p>[2] 合成樹脂塗装</p> <p>(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) なし (2) アクリル系樹脂 (3) アクリルゴム系樹脂 (4) ウレタン系樹脂 (5) エポキシ系樹脂</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗布量 $200_{\pm 20} \text{g/m}^2$ (固) 以下
②野縁	<ul style="list-style-type: none"> ・材質 木 ・寸法 30×38 の断面寸法以上 ・間隔 500 以下

(別添-1)

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
③換気スリット	<ul style="list-style-type: none">・厚 さ 0.4 以上・換気孔寸法 4.5×16.5, @6.5・換気孔面積 114.3cm²/m・材質 1)～3)のうち、いずれか一仕様とする<ol style="list-style-type: none">1) 塗装溶融 55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板<ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 33222) 塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板<ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 33183) 一般構造用圧延鋼材<ul style="list-style-type: none">・規格 JIS G 3101・塗装 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする<ol style="list-style-type: none">1) ポリエステル系樹脂<ul style="list-style-type: none">・膜厚 42_{±20}μm 以下 (表面・裏面合計)2) ウレタン系樹脂<ul style="list-style-type: none">・膜厚 42_{±20}μm 以下 (表面・裏面合計)3) エポキシポリエステル系樹脂粉体<ul style="list-style-type: none">・膜厚 150_{±20}μm 以下4) 下塗 エポキシ系樹脂粉体<ul style="list-style-type: none">・膜厚 50_{±20}μm 以下上塗 アクリル系樹脂<ul style="list-style-type: none">・膜厚 20_{±5}μm 以下・めっき (材質が 3) の場合のみ<ol style="list-style-type: none">1)、2)のうち、いずれか一仕様とする<ol style="list-style-type: none">1) 溶融亜鉛-6%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき2) 溶融亜鉛-11%アルミニウム-3%マグネシウム合金めっき

2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造
①留付け材	<p>[1] 軒天材留付け用 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) くぎ ・規 格 JIS A 5508 ・寸 法 $\phi 1.9$ 以上\timesL32 以上 ・間 隔 軒の出方向 125 以下 軒の幅方向 160 以下 (2) 木ねじ ・規 格 JIS B 1112、1135 ・寸 法 $\phi 3$ 以上\timesL25 以上 ・間 隔 軒の出方向 125 以下 軒の幅方向 160 以下 (3) タッピンねじ ・規 格 JIS B 1122、1125 ・寸 法 $\phi 3$ 以上\timesL25 以上 ・間 隔 軒の出方向 125 以下 軒の幅方向 160 以下</p> <p>[2] 野縁留付け用 (1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする (1) くぎ ・規 格 JIS A 5508 ・寸 法 $\phi 3.05$ 以上\timesL65 以上 ・間 隔 500 以下 (2) 木ねじ ・規 格 JIS B 1112、1135 ・寸 法 $\phi 3.8$ 以上\timesL45 以上 ・間 隔 500 以下 (3) タッピンねじ ・規 格 JIS B 1122、1125 ・寸 法 $\phi 3.8$ 以上\timesL45 以上 ・間 隔 500 以下</p> <p>[3] 換気スリット留付け用 ・タッピンねじ ・規 格 JIS B 1122、1125 ・寸 法 $\phi 3.5$ 以上\timesL25 以上 ・間 隔 500 以下</p>
②金属ジョイナー	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) あり(金属ジョイナー目地の場合) 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする 1) 塗装ステンレス鋼板 2) 亜鉛めっき鋼板 3) 塗装鋼板 4) 塗装アルミニウム合金 ・厚 さ 0.2 以上 ・塗 装 1)～4)のうち、いずれか一仕様とする イ) アクリル系樹脂 ロ) フッ素系樹脂 ハ) ウレタン系樹脂 ・膜厚 $40_{\pm 20}$ μm 以下 ・形 状 H型(別添-13 参照)</p>

(寸法単位：mm)

項 目	申 請 構 造								
③コーキング材	<p>[1] 軒天材目地用 (1)～(4)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) アクリル系樹脂 (3) シリコン系樹脂 (4) ウレタン系樹脂 ・使用量 30_{±3}g/m 以下</p> <p>[2] 軒元用 ・変成シリコン系樹脂 ・使用量 40_{±10}～70_{±10}g/m</p> <p>[3] 換気スリットと軒天材の取り合い部用 (1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) 変成シリコン系樹脂 ・使用量 23_{±3}g/m 以下</p>								
④バックアップ材	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) ロックウールまたはグラスウール								
⑤吊り木 (水平仕様)	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (軒の出が 500 以下の場合) (2) あり (軒の出が 500 を超える場合) ・材 質 木 ・寸 法 30×38 の断面寸法以上 ・間 隔 1000 以下								
⑥発泡材	・材 質 グラファイト系 ・寸 法 厚さ 2.3 _{±0.3} 以上×幅 9.6 以上 ・発泡倍率 7 倍以上 ・組 成 (質量%) <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>膨張性黒鉛</td> <td>40_{±10}</td> </tr> <tr> <td>水酸化アルミニウム</td> <td>20_{±10}</td> </tr> <tr> <td>ゴムバインダー</td> <td>25_{±10}</td> </tr> <tr> <td>その他 (耐熱性繊維等)</td> <td>15_{±10}</td> </tr> </table>	膨張性黒鉛	40 _{±10}	水酸化アルミニウム	20 _{±10}	ゴムバインダー	25 _{±10}	その他 (耐熱性繊維等)	15 _{±10}
膨張性黒鉛	40 _{±10}								
水酸化アルミニウム	20 _{±10}								
ゴムバインダー	25 _{±10}								
その他 (耐熱性繊維等)	15 _{±10}								
⑦フラップ	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) なし (2) あり ・材質 塩化ビニル樹脂 ・厚さ 1.2 以下								

3) 施工仕様

(寸法単位：mm)

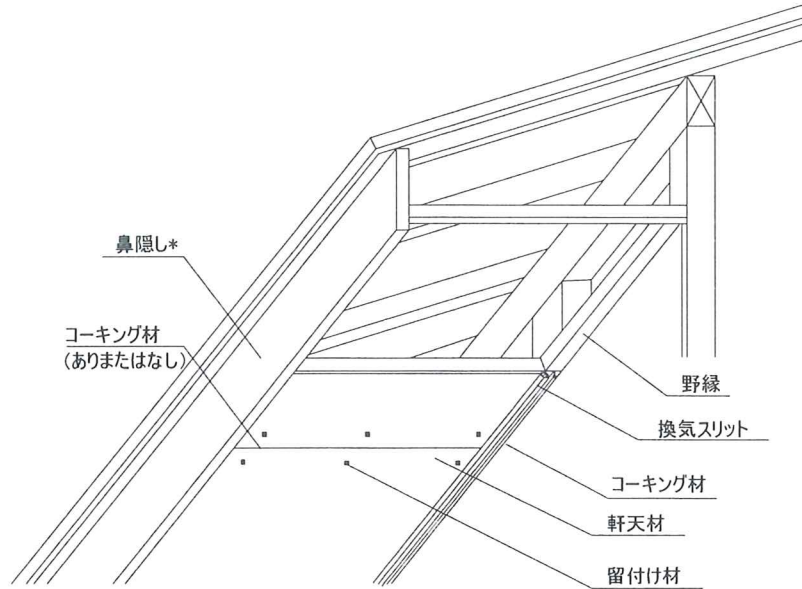
項 目	申 請 構 造
壁との取合い	(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする (1) 壁先行仕様 (壁勝) (2) 軒先行仕様 (野縁勝)

4. 構造説明図

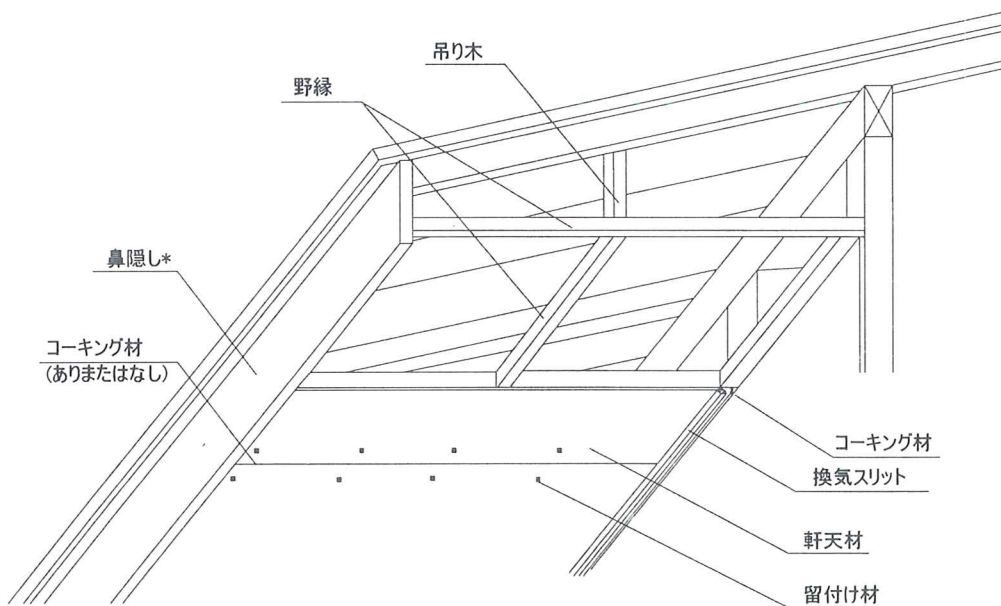
透視図（水平軒・軒先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 500 を超える場合



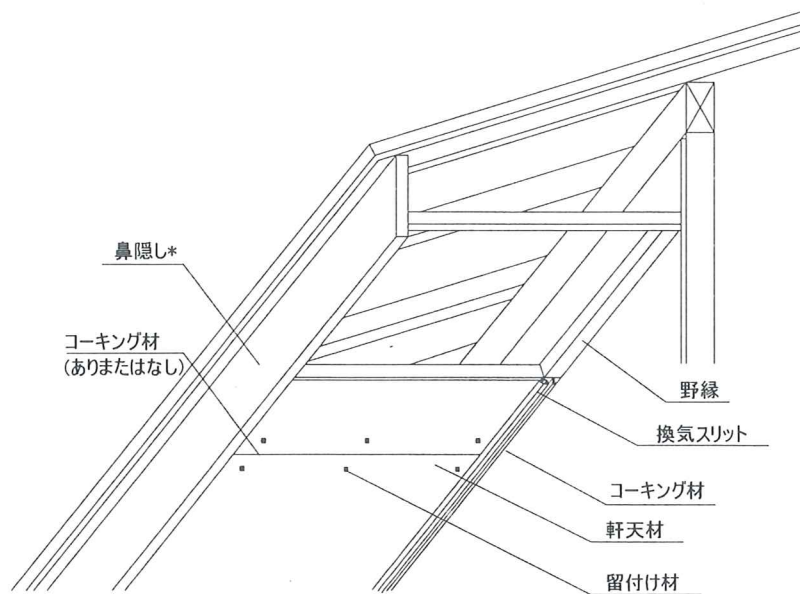
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*：本評価内容に含まない

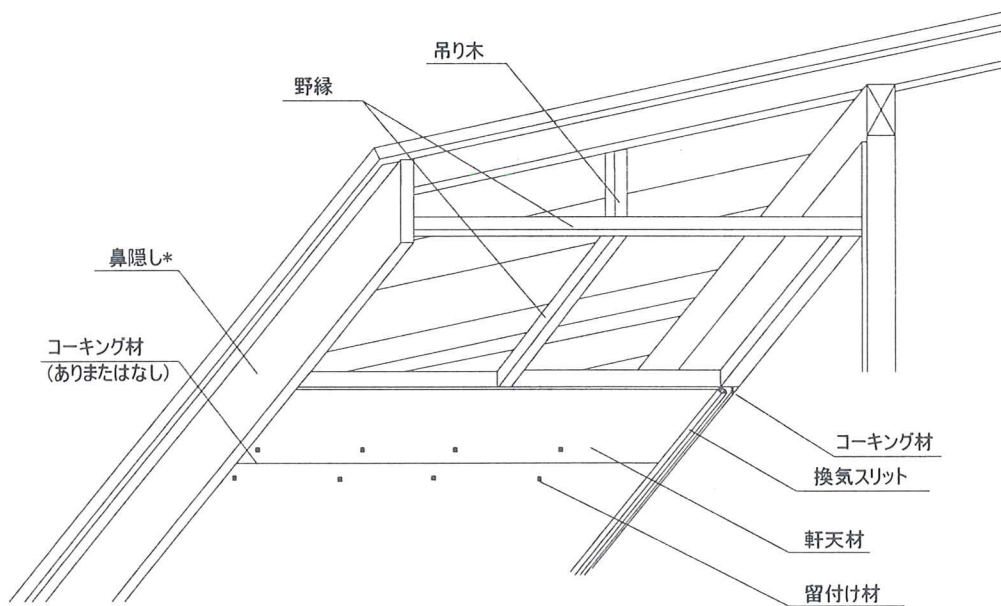
透視図（水平軒・壁先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 500 を超える場合



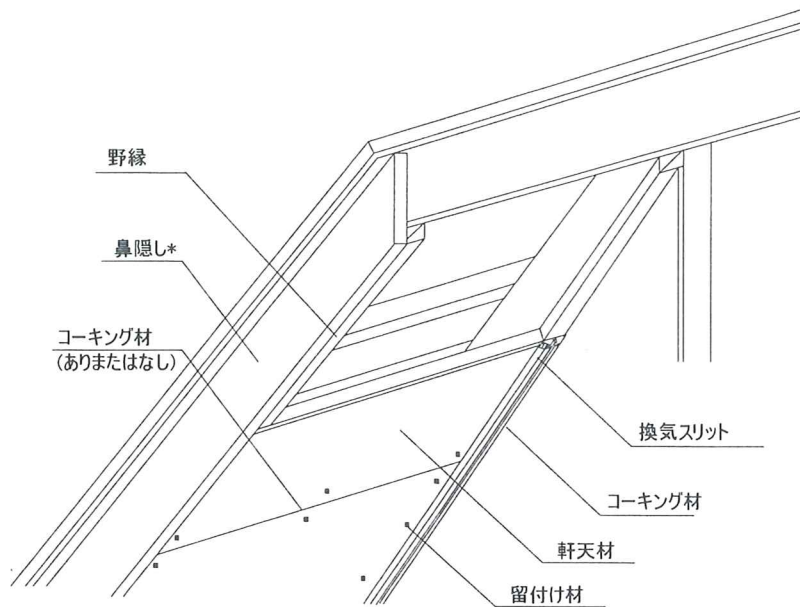
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*：本評価内容に含まない

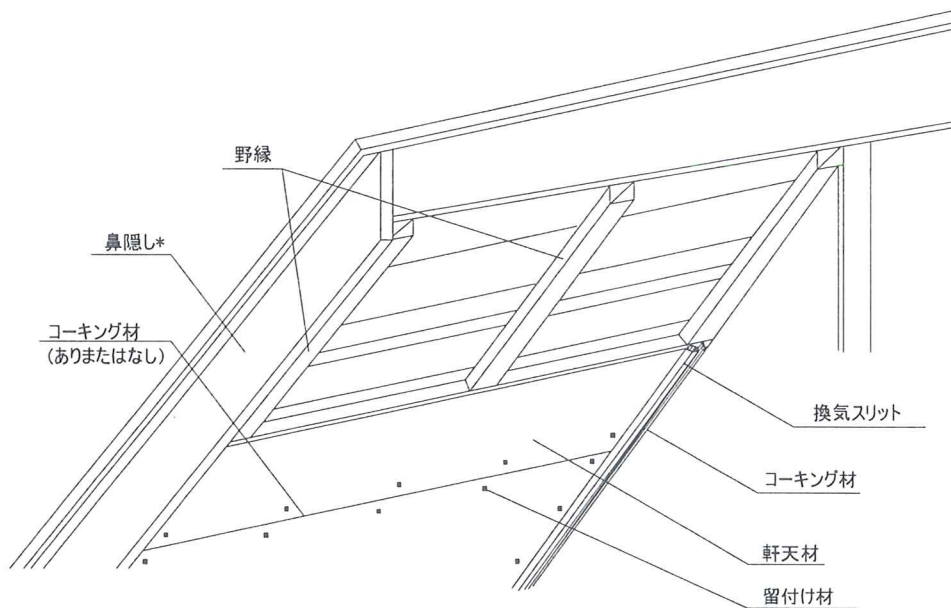
透視図（勾配軒・軒先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 500 を超える場合



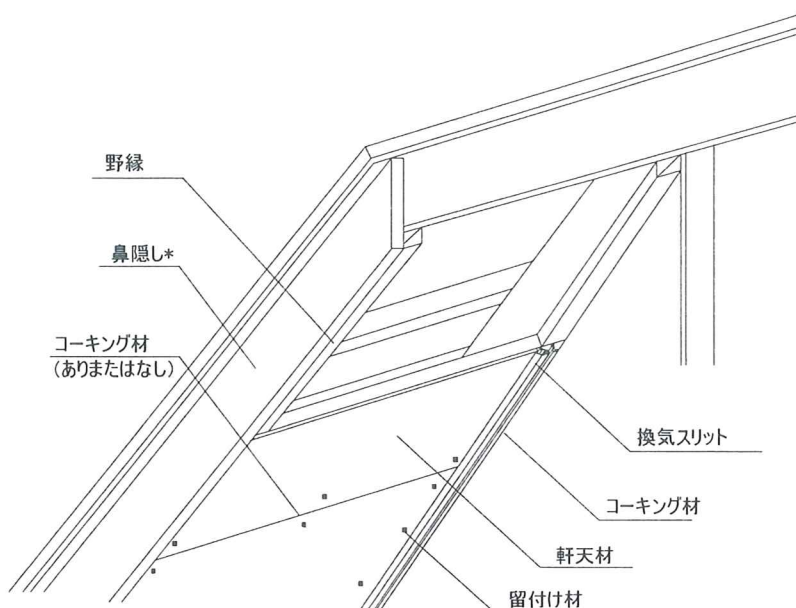
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* : 本評価内容に含まない

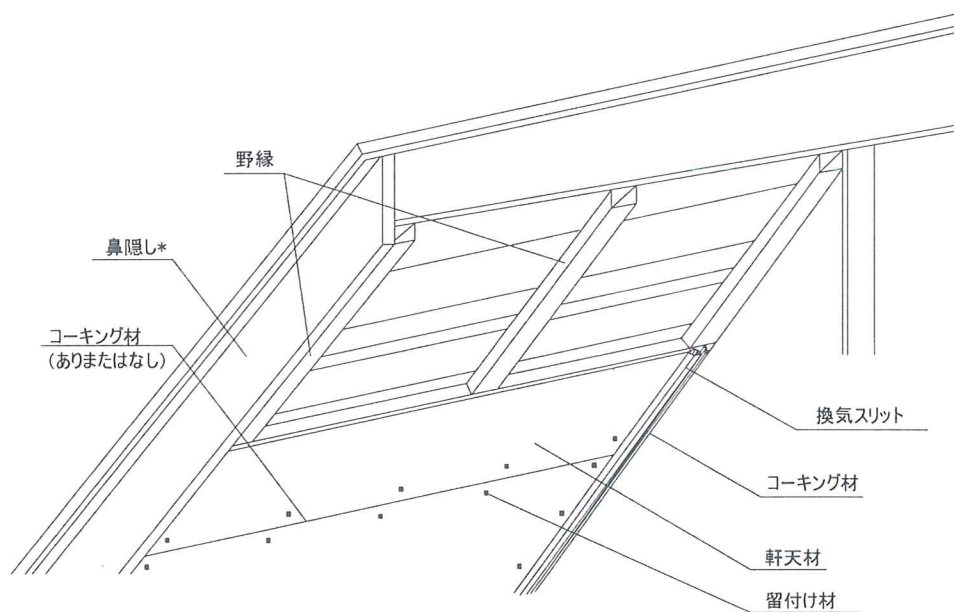
透視図（勾配軒・壁先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 500 を超える場合



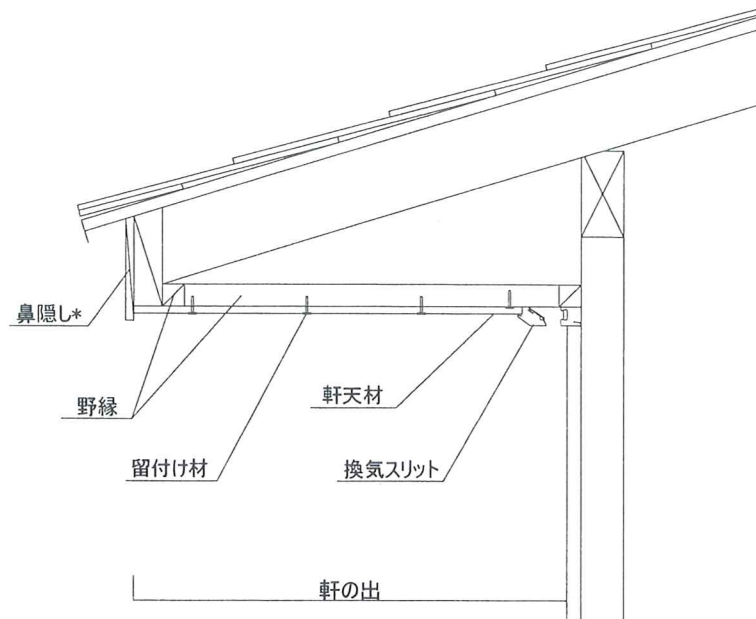
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

* : 本評価内容に含まない

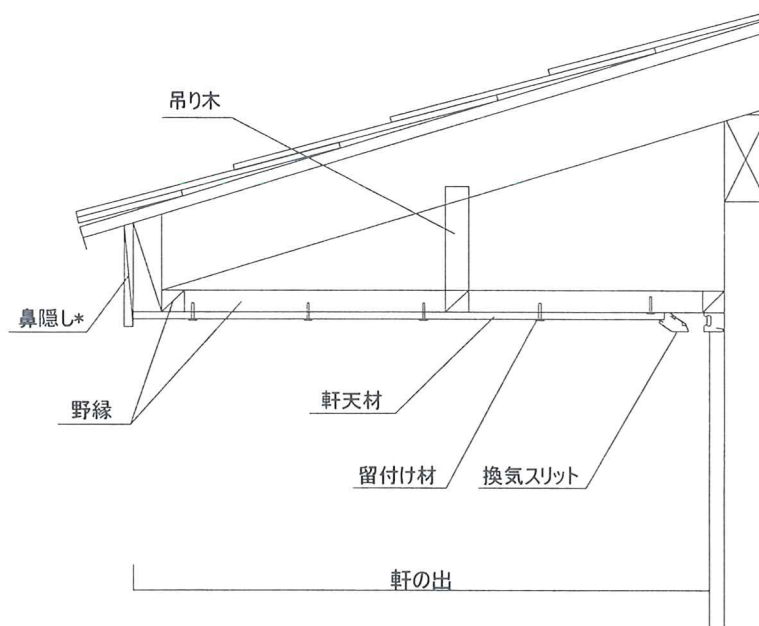
垂直断面図（水平軒・軒先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 1000 を超える場合



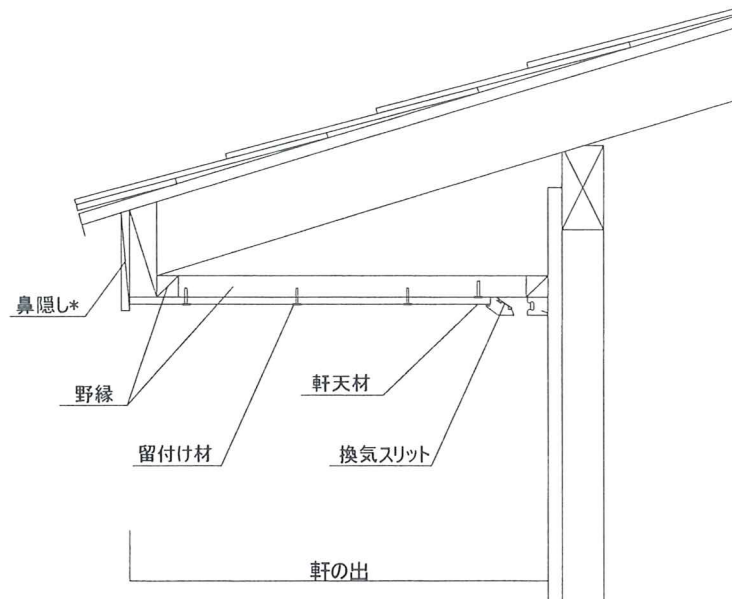
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*：本評価内容に含まない

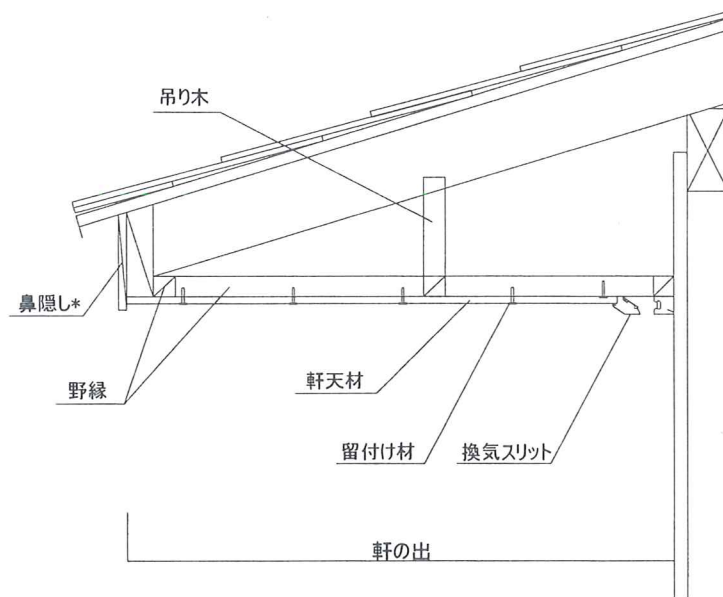
垂直断面図（水平軒・壁先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 1000 を超える場合



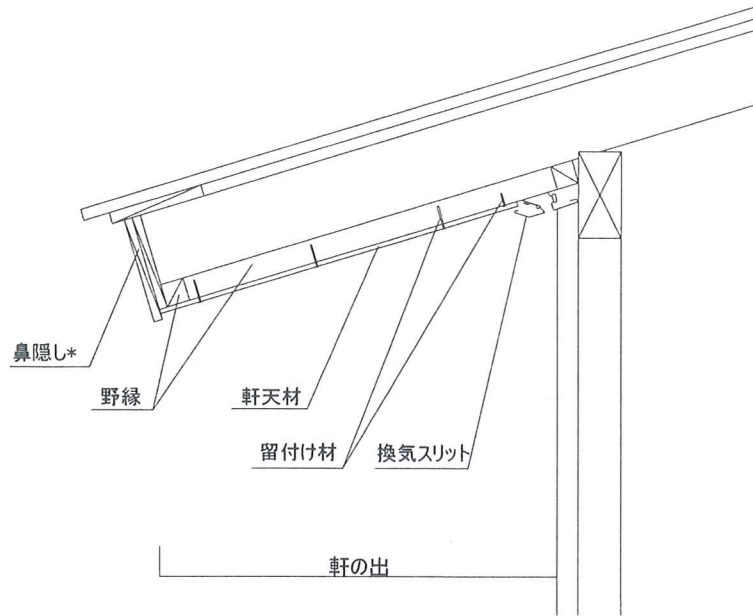
注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

*：本評価内容に含まない

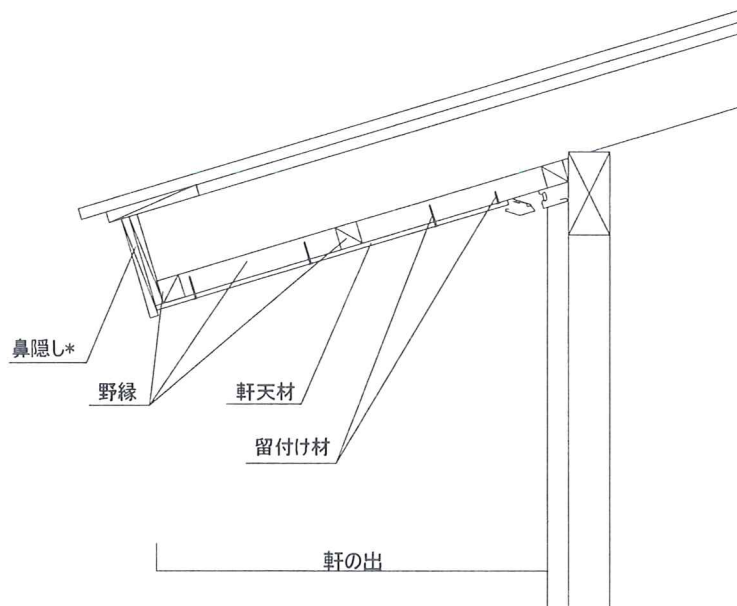
垂直断面図（勾配軒・軒先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 1000 を超える場合



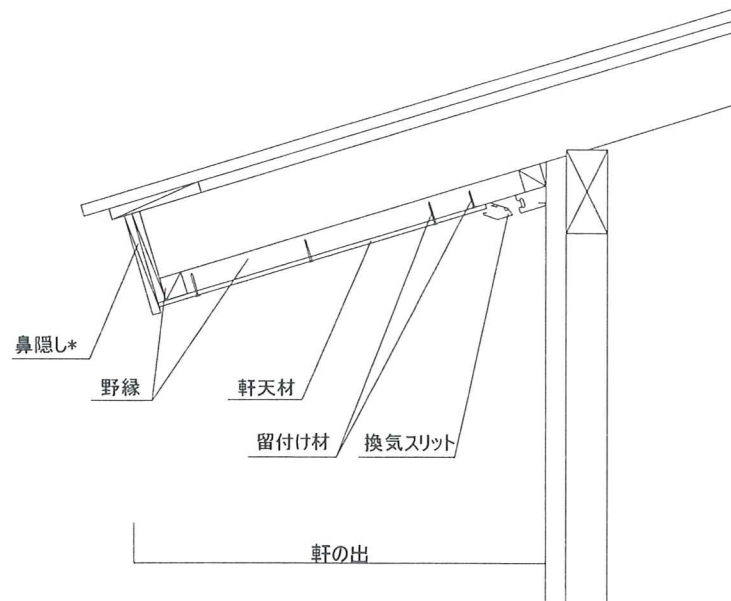
注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

*：本評価内容に含まない

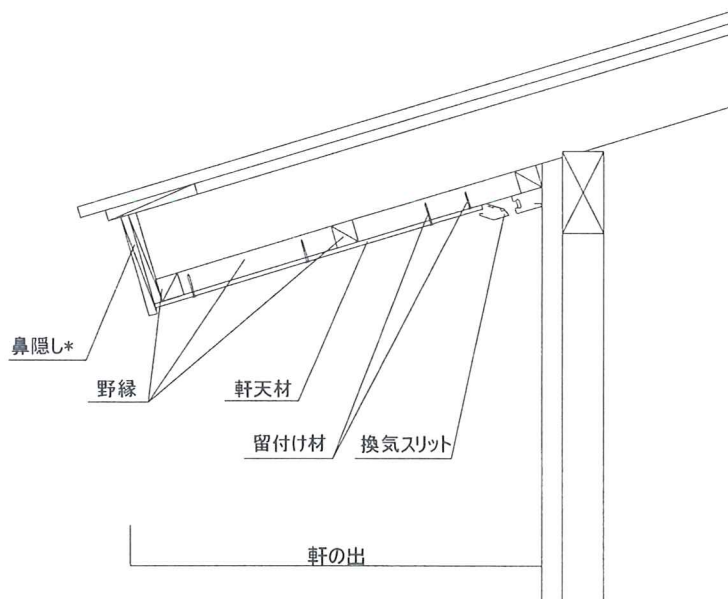
垂直断面図（勾配軒・壁先行仕様）

（寸法単位：mm）

軒の出が 500 以下の場合



軒の出が 1000 を超える場合

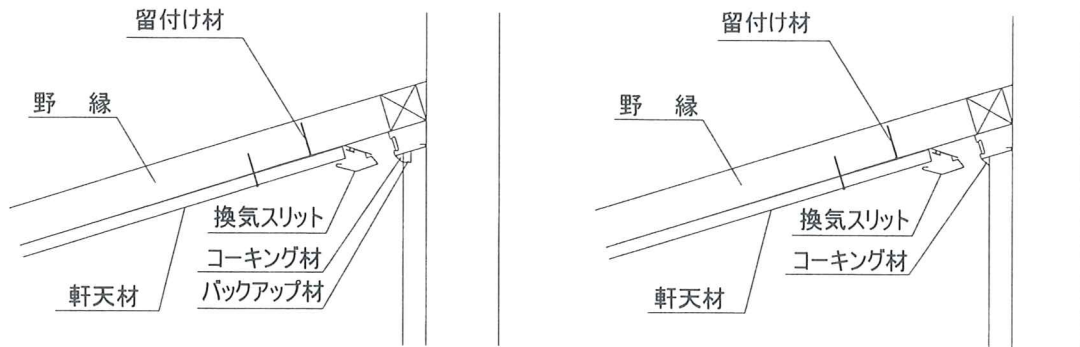


注) 寸法および材料構成は 2 および 3 のとおり

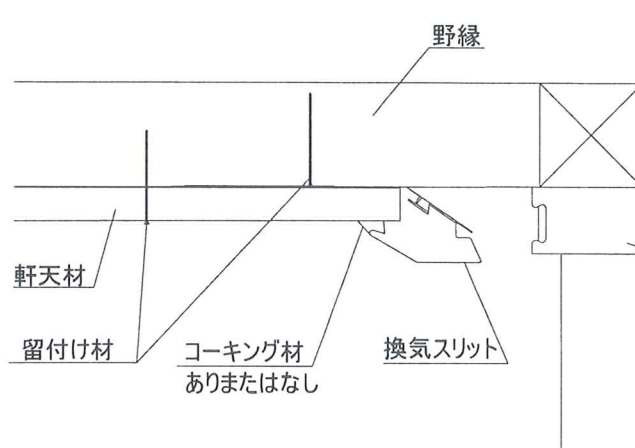
*：本評価内容に含まない

軒元詳細図

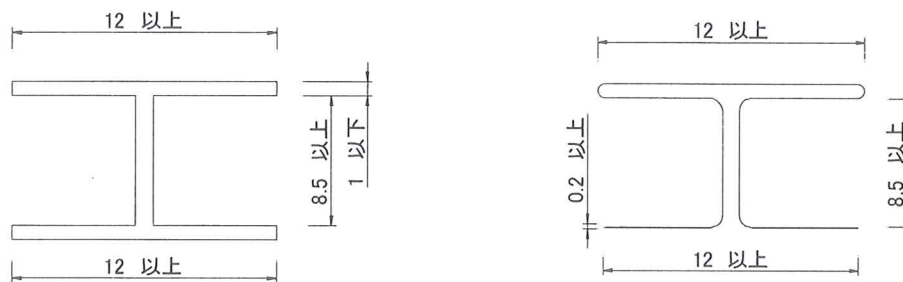
(寸法単位：mm)



換気スリットと軒天材の取り合い部



金属ジョイナー寸法図

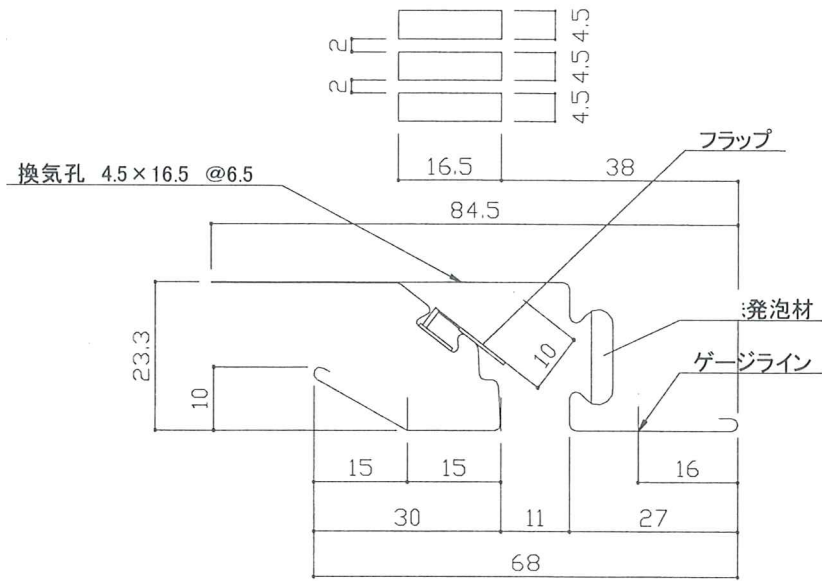


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

* : 本評価内容に含まない

(寸法単位：mm)

換気スリット寸法図

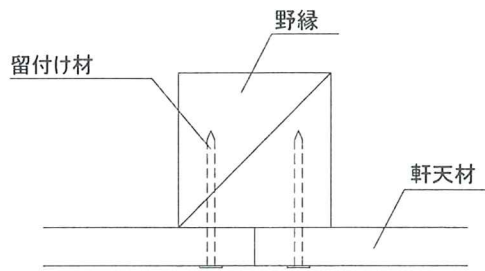


注) 寸法および材料構成は2 および3 のとおり

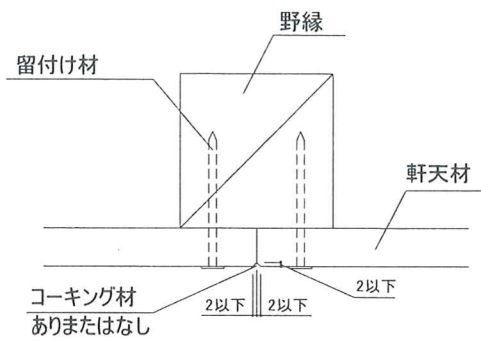
*：本評価内容に含まない

目地部詳細図

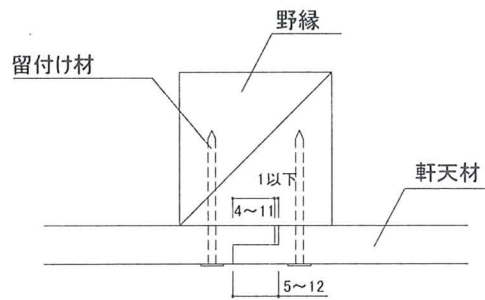
(寸法単位：mm)



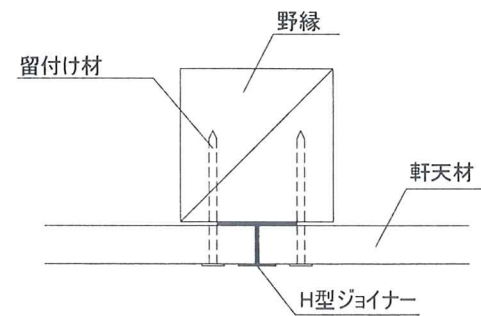
突付け目地



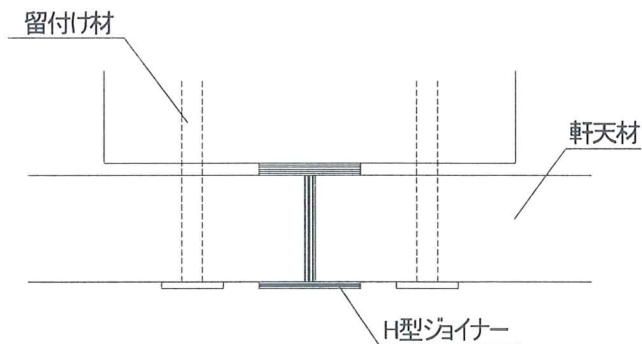
面取り突付け目地



合いじゃくり目地



金属ジョイナー目地



金属ジョイナー目地詳細図

注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

5. 施工方法等

<施工図>

4. 構造説明図と同じ

<施工手順>

(1) 下地組

30×38 mmの断面寸法以上の野縁を 500 mm以下の間隔で不陸の無いように配置する。
必要に応じて吊り木または吊り金物を介して取り付ける
但し、軒の出の最大寸法は 1,000 mmとする。

(2) 換気スリット取付け

野縁、その他の部材に留付け材で 500 mm以下の間隔で留付ける。

(3) 軒天材取付け

野縁、その他の部材に留付け材で留付ける。

(4) 目地部分

①～④の何れかとする

①突付け目地 ②面取り突付け目地 ③合じゃくり目地 ④金属ジョイナー目地

(5) 留意事項

①保管に関する事項

保管の際は、水や湿気を避け平らな所に積み重ねる。

②運搬に関する事項

持ち運ぶ際は、面を垂直に持ち、特に角部に衝撃を与えたり
面に傷を付けないように注意する。

6. 注意事項

本構造に使用する発泡材(グラファイト系)については、耐久性に留意し、所定の耐火上の性能が維持されるよう適切な処置を行う必要がある。